

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2023年3月31日

事業所名 いきいきHAPPY STEP津福

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11		適切な広さを確保している。	空間のレイアウト等はスタッフと協議し変更したりすることをしている。
	2	職員の配置数は適切である	11		基準以上の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11		段差がなくフルフラットでバリアフリー化されている。視覚的な情報も整理整頓して集中しやすい環境にしている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	11		月目標、定期面談での個人目標にて実施。日々の中では終礼などの実施を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		年1回の事業所アンケートの実施。待合スペースに意見箱の設置をしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		アンケートの実施および、その後の改善点について検討し、結果の公表をホームページにて行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11		社内の内部強化室という部署の業務確認を実施し、業務改善に努めている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11		毎月の勉強会。外部研修の案内なども積極的に実施している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11		事業所独自の「できるチェックシート」を定期的実施し、発達アセスメントを行った上で、個別支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11		事業所独自の「できるチェックシート」は、Vineland- II という標準化された検査を参考にしている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11		新規で利用されている方は、初期評価を実施し、初回カンファの実施。その後は、定期的なカンファレンスにてチームで支援を検討している。	ケースカンファを実施後、ケースの振り返りを行い方向性等の確認を再度行い、質の向上に努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11		固定化されないよう必要に応じて段階付けてサービス提供を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11		個別療育型で、お子様の発達段階に沿った支援内容を提供しています。その為、学校の有無による課題の変化はありません。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11		当事業所では個別療育であるが、集団生活に必要なようになってくるコミュニケーションや社会性の面での支援も経過している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		終礼や申し送りシートなどで共有して実施している。	各担当にも情報集を行い方向性や現状の把握、今後の課題について情報の整理を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11		終礼での情報共有や申し送りノートを活用して情報共有するように努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11		記録以外に、終礼の際のノート記入やヒヤリハット、ケースノート等独自で見直しを行い改善につなげる取り組みを実施している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11		6ヶ月に1度のモニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	11		お子様に必要な基本活動を複数以上組み合わせでサービス提供を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	11		学校との連携は、発達支援に関わる部分で必要に応じて行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11		必要に応じて医療機関との情報共有や保護者様を通じての情報収集を行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	11		必要に応じて情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	11		サービス移行の際には、必要に応じて情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11		必要に応じて、幼児教育研究所や医療機関などの担当者へ情報提供を呼び掛け、助言を頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	10		当事業所を利用されているお子様が、地域の園との交流ができるような機会は設けることができていません。今後、地域とのつながりを考えた企画を行う予定。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	11		子ども分科会への参加をしており、案内を頂くように働きかけています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		毎回の療育後のフィードバックで状況のご報告を保護者様に行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	11		保護者様へのフィードバックの際に、ご説明していること、必要に応じて保護者様同席して頂き、支援の様子を見て頂きながらお伝えしています。	ペアレント・トレーニングという言葉は使っていませんが、母子療育をコンセプトに毎回のFBや相談時等必要に応じて実施しています。今後はさらに各職員のペアレント・トレーニングの知識やスキルアップを図り、母子療育・保護者支援の質の向上を目指します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		契約の際にご説明を行うことと、変更が生じた際には文章化してご説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		毎回の療育後のフィードバックの際に、相談が行える状況を設定しています。また、必要に応じて児童発達支援管理責任者が個別にお話をしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11		保護者様がに行っている活動についてのチラシなどを掲示やご自由にお取りになれるように設置しています。	保護者様同士が連携を図りやすいような取り組みや父母の会などの活動支援などは行えていませんので、今後検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11		担当スタッフで相談を受けた際には、終礼にて必ず共有している。相談への対応については、担当もしくは児童発達支援管理責任者から返答している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		事業所内に掲示板の設置をし、全体への周知文は配布と掲示を行っている。会報はないが、ブログ発信をしている。	
	35	個人情報に十分注意している	11		取り扱いに関する社内ルールの周知および、ルールが守れているかのチェックをし、十分に気を付けています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）など必要に応じて活用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	10		事業所に行事などはなく、地域との関わりはない状況。要望や必要に応じて地域住民を招待する行事の検討を行います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11		社内のマニュアルの整備は行えており、勉強会や訓練の実施を行っています。	保護者様への周知は行っておりませんでしたので、周知する為の取り組みを検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		年2回の避難訓練の実施をしています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		年に1回虐待防止についての研修会を行っています。また、日々の終礼の中で接遇ノートに接遇面での良い点。悪い点の記載をしています。	参加できなかったスタッフに関してはレポートの提出をし研修の共有をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	11		年に1回虐待防止についての研修会を実施し、その中で身体拘束についての研修も実施。今のところ、身体する場面がない為、個別支援計画書への記入は行っていない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	11	個別療育型により、食事提供を行っておりませんので、特に対応を行っておりません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		ヒヤリハットは日々の終礼の中でノートに記載し対応の検討を行っています。対策の共有については、毎日の朝礼での共有をしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。